

皆さんの「声」を聞かせてください！

拡大版／A チーム

3/8（土）に行われた、多世代が参加した町民インタビューのレポートの1回目です。立場の異なる町民同士のディスカッションをとおして、それぞれが感じている「中山町の課題」を共有する良い機会となりました。

〈参加者〉
 10代
 10代
 40代
 40代
 60代



中山町はいろんな施設があって充実している！



さすがスポーツの町！
さまざまな運動ができる

勉強する場所があるのはありがたい



公共施設が一か所に集中しているのが気になる

車がないと公共施設に行くのも不便

施設の機能は充実している一方で、利便性が居住地によって左右されている

公共施設再配置に期待！

誰でも公平にアクセスできるように、
立地だけでなく交通サービスも検討が必要



今の中山町には、自由に過ごせる場所がない...

気軽に
お茶できる
場所がない

ちょっとした
打ち合わせができるような
スペースがない

おしゃべりして
過ごせる
場所がほしい



「自由に過ごせる場」を求めて、
町外に出てしまっている現状がある



町外向けの魅力づくりだけでなく、
町民の普段の暮らしを充実させるための場づくりも必要

他にも
課題はある！

車がないと不便なので、
免許を返納した後の
ことが不安

道が
暗くて狭い

行政サービスの
デジタル化が
進んでいないように感じる

世代や立場によって
「便利」「不便」の捉え方はさまざま

行政サービスに
偏りを感じる

高齢者や
子育て世帯への
サービスは
充実している

暮らしの中で
障がい者に対する
配慮が十分ではない
と感じる場面がある

NPO や RMO 等
地域に近い立場で動ける
組織も必要

行政任せにせず、
民間と連携した仕組みづくりも必要では？

施設だけでなく、町民のまちづくりへの関わり方もアップデート！

1 施設は充実していて満足！

公共施設に対する意見として、「スポーツとフルーツ伸びゆく町なかやま」をキャッチフレーズにする中山町らしく、体育館やプール、野球場など「スポーツ施設が充実している」という声が複数上がりました。また、学生たちにとっては「ほんわ館をはじめ、勉強する場所がある」という点も心強いとのことでした。

一方、「公共施設が一か所に集中している」という現状が、一見便利そうに見えながらも、居

住地によって利便性が左右されるという不公平感をもたらしていることが分かりました。この不公平感を解消するには、立地だけでなく、施設へのアクセス方法も同時に検討が必要だと考えます。また、町役場や中央公民館の老朽化も利用者としてはとても気になる点であるとして、公共施設再編の際のリニューアルを期待する声も聞かれました。

2 自由に過ごせる場所がほしい

「気軽にお茶する場所がない」「溜まり場がない」「おしゃべりして過ごせる場所がない」等の「自由に過ごせる場所がない」という意見は多世代から聞かれました。そして、「買い物する場所や遊ぶ場所は、町外を選択するしかない」という状況と同様に、「自由に過ごせる場」を求めて、休日や仕事・学校終わりに町の外で過ごしている現状も明らかとなりました。

こうした声を踏まえると、「もっと町の魅力をアピールしてほしい」という町外向けの魅力づくりだけでなく、町民の普段の暮らしをより充実させるための場づくりも急務であることがうかがえます。町民インタビューをとおして多く聞かれるこの意見をしっかり受け止めて改善を図るためにも、町民ニーズを正しく把握することが求められます。

3 さまざまな課題に気づくための仕組みづくりを

今回は多世代が参加したグループインタビューであったため、参加者の皆さんにとっては、それぞれの世代に対する行政サービスの違いや、町の便利・不便の捉え方の違いに気づく機会にもなったようです。

この世代による違いは、実際に話してみないと気づかないことでもあります。こうした多世代での交流機会が現状ではほとんどみられず、

課題があっても、その解決は行政任せとなっている雰囲気もあるようでした。一方で、課題に対する解像度は町民のほうが高く、解決案も柔軟に考えられるはずです。こうした町民の声が反映されるような町政や民間と連携した仕組みづくりを求める声もあり、公共施設再編を機に、町の課題解決方法のアップデートも図られることが期待されています。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第6次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第6次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総務広報課防災安全対策室（中山町大字長崎 120 番地／電話：023-662-4899）

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

〈2025 年 6 月発行〉